

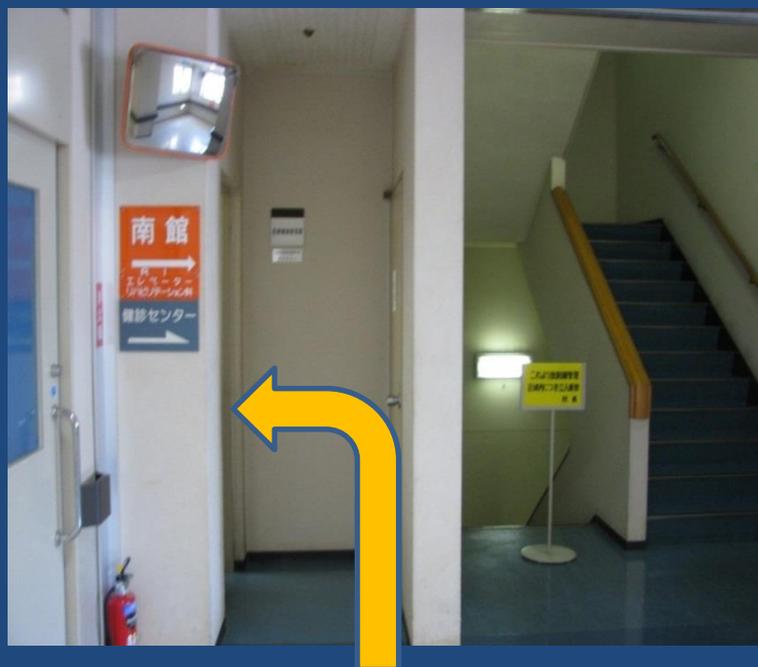
チーム医療として臨床工学課が目指すこと！
～これまでの取り組み と これからの取り組み～

医療技術部・臨床工学課

光家 努

医療技術部・臨床工学課の紹介

場所：南館 1 階



今年の4月より、
事務部医療機器管理課から
医療技術部・臨床工学課と
なりました。

しかしここまでの道のりは・・・
医療機器って何してるってどこ？
臨床工学技士ってなに？
お前ら普段何してるんや？

基本的には裏方ですが、縁の下の力持ち
精神で業務に取り組んでいます!!

臨床工学課の紹介

西村副院長が医療技術部部長を兼務し、
臨床工学技士は、17人（男性12名、女性5名）
事務員 2人（午前中のみ1名）



現実問題として、臨床工学技士の認知度はかなり低い・・・

今回のような貴重な機会に
臨床工学技士の業務を
理解してもらいたいのので、

まずは、
日本臨床工学技士会のPV作成を
みなさんご覧ください。

当課の業務紹介

【主な業務】

- 血液透析業務（腎センター）
- 血液浄化業務（ICU・病棟）
- 人工呼吸器業務
- 心臓血管外科業務
- 手術室業務
- ダヴィンチ業務
- 補助循環業務(救急)
(IABP/PCPS)
- 循環器内科業務
(ペースメーカー/心カテ/EPS)
- アブレーション業務
- 消化器内科業務(ラジオ波)
- 末梢血幹細胞業務
- 医療機器管理業務
- 院内勉強会の開催
- 養成校の実習受け入れ

今後も臨床工学技士としてチーム医療に
貢献できることは、積極的に関わる方針！

補助循環業務（ICU）

4FrツースがFAFVにあればスムーズにPCPSへ



臨床工学技士が管理する機器は？



IABP

PCPS

PCPS 施行中の風景

INVOS・CCOモニター
(ME機器)

ECG・SpO2モニター
(ME機器)

人工呼吸器
(呼吸)

輸液・シリンジポンプ
(ME機器)

エコー
(ME機器)

24時間つきっきりで見れば
全身管理が分かってきます！

CHDF
(代謝)

連続ガス分析装置
(ME機器)

IABP
(循環)

PCPS
(循環)

冷温水槽
(ME機器)

PCPS使用中は、24時間院内待機

院内勉強会の開催

- 新規採用オリエンテーション
- 医療機器安全管理研修会（2回/年）必須！
- 臨床工学課ミニ勉強会（毎月）
- 必要であれば、適宜、出張勉強会も開催

医療機器の安全を提供！ そのためには教育！

これまでの取り組みを一部紹介！

これまでの取り組み①

泌尿器科編

- 透析室の常勤を現在は4人～6人まで増員し、看護師の業務改善し透析中の安全が向上した。
- これまでDr. のみの穿刺業務をCEも穿刺することで、Dr. 業務が軽減し、外来診察時間や手術時間が改善した。
- Dr.2人で行っていたシャントPTAにCEが入ることで業務改善することができた。
- チームダヴィンチの一員として、手術に常駐することで、手術が円滑に行えている。

これまでの取り組み②

循環器内科編

- IABP施行時のみ緊急呼び出し体制だったのが、現在では、2名が常駐することになった。
- 看護師の業務改善し、検査技師はエコー業務等に専任してもらえるようになった。
- チームでカンファをすることで情報共有し質の向上を目指している。
- Dr.が行っていたデータ管理の一部をCEが行うことで医師業務を軽減し知識の向上
- ローターブレード、アブレーションなど新しい治療の導入、今後は、TAVIへの参加

これまでの取り組み③

手術室編

- これまでは、術前・術中の機器トラブル発生時に対応していましたが、現在は、2～3名が常駐し、毎朝の開始前点検や保守点検を行うことで、以前に比べてトラブルが軽減している。
- また、術中のトラブルに対しても、すぐに対応できるようになった。

今後は、

- 常駐スタッフを増員し、さらに円滑に手術が運営できるように目指していきたい。

これまでの取り組み④

内科編

- 呼吸器内科では、RSTの一員として、呼吸器ラウンド等で呼吸器の機械面をサポートしている。
- 消化器内科では、ラジオ波に常駐し機械の操作
- 血液内科では、薬剤師が行っていた末梢血幹細胞業務をCEがするようになり薬剤業務に専念できるようになりました。

これまでの取り組み⑤

ICU編

- 呼吸器やシリンジポンプなどの医療機器の整備の充実化を図るため昨年末よりCEが常駐するようになった。
- ICU内で行う血液浄化や補助循環施行時にも対応し、Nsに対する勉強会も随時行っている。
- 先月より、“集中治療加算”を取得することで、CEが24時間院内に常駐することになり、さらなる医療安全の向上を目指しています。
- 将来的には、NICUの常勤を目指しています。

これまでの取り組み⑥

病棟編

- 定数の廃止（輸液・シリンジ・フットポンプ）
- 感染患者に対するディスポ吸引器運用
 - 稼働率・質の向上
- 在庫確認電話の廃止
- 夜間・休日におけるDVTポンプ運用変更
 - 業務改善

少しずつ業務改善・医療安全の向上している?!

これからの取り組み！

まずは
コスト意識改革！

医療機器の購入時 いろいろな意見はありますが...

高級車！

安くて、機能的重視！



買ってくれるなら？ どっち？

自分で買うなら？ どっち？



一例ですが...

～ 手術室 内視鏡システム ～

◎変更前 4メーカー



◎ 変更後 2メーカー



メリット：機械の操作が統一（BestでなくBetterでいい！）
機器トラブルの対応が可能（代替えが可能）
上手く手術調整すれば稼働率もUP！

病棟ラウンド

- 今年度より生体モニターなど施行中点検を主に病棟ラウンドを行っています。また、病棟で眠っている医療機器の効率化を考えています。(例: 除細動器やベットサイドモニター)

なんかあったらどうするん? という考え方を
少しでも改善し医療機器の稼働率UPすることが
経費削減につながると考えています。

これも臨床工学課ができるチーム医療だと思っています



当課の目標: Modify BCP

事業継続計画: (Business Continuity Plan)

- 災害などリスクが発生したときに重要業務が中断しないこと。また、業務中断に伴うリスクを最低限にするために、平時から事業継続について戦略的に準備しておく計画
- 現在、多種業務である当課では、業務が継続して行えることを目指して取り組んでいますので、今後ともご理解ご協力の程よろしく申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。